

子どもたちのSOS 不登校支援に取り組む



不登校支援の現場から意見を聞く



県議会「子どもの未来応援特別委員会」の初代委員長を務め、全国初の子ども貧困実態調査を後押しするなど熱心な取り組みを続けるみおさん。不登校やヤングケアラー、障がいのある子など、当事者である「子どもの声」を直接聞いて、どの子の学びも支援しています。保育所や学童クラブの待機児童解消、給食の無償化、高等教育の無償化にも取り組んでいます。

「教職員の多忙」の解消を

あまりに多忙でゆとりのない学校、教職員の健康管理も大きな課題です。きめ細やかな教育を可能とする少人数学級の実現、正規職員の採用拡大、働き方改革などみおさんは先生方の悲鳴も聞き逃さず教育現場を支えます。

沖縄を再び戦場にしない



広島での講演

突如として、沖縄市池原への弾薬庫計画が持ち上がり、市民への説明もないまま建設が進められようとしています。軍事拠点があるところは標的にされ住民が巻き込まれる可能性があります。沖縄戦の教えを忘れず、平和憲法を今こそ生かし、武力によらない平和の道を歩むよう政府に強く訴えます。みおさんは市民の会の代表としていつも先頭に立っています。

辺野古新基地は中止を

政府は、玉城デニー知事の権限をとりあげて辺野古新基地建設を強行しています。アオサング、ジュゴンなど世界的にも希少な生き物が棲む大浦の海に、7万本もの杭を打ち土砂で埋め立てることを県民は望んでいません。

みおさんは、県民の民意を受けたデニー知事を支え、新基地建設反対を貫きます。



市民会議の皆さんと
辺野古ゲート前の
集会に参加



県議団リレートーク
武力によらない
平和の構築を訴える